

羽ばたこう 立志の丘から

平成27年8月24日
No.17

8・29(土) だいせん防災教育 「避難所開設訓練」を行います

先にご案内しておりますが、8月29日(土)に、大仙市教育委員会指定「だいせん防災教育『生き抜く力育成』事業」の一環として西部わくわくランチと連携して、本校において「避難所開設訓練」を行います。

市総合防災課や西仙北支所、西仙北中央公民館、大曲消防署西仙北分署、刈和野交番、そして西仙北地域の自主防災会の協力を得て訓練を行います。

土曜日ですが、生徒は通常の登校となります。代休日は、9月2日(水)を予定しております。



1 ねらい

- (1) 災害時における避難所開設にあたり、生徒・教師・市役所職員・学校給食センター職員・地域住民が一体となって避難所運営を行うことができる。
- (2) 訓練参加者による組織編成を行い、災害時を想定した具体的な活動に取り組みながら、避難所運営に関わる役割分担や協力・支援方法を学ぶ。
- (3) 地域の一員である中学生が自分の役割を自覚し、主体的に運営に参画する態度を育む。

- 2 実施日時 平成27年8月29日(土)
9:00 ~ 15:00
- 3 場 所 西仙北中学校体育館及び校舎内、
西部わくわくランチ
- 4 参加者 西仙北中学校生徒(168名)、教職

員(20名)、西部わくわくランチ職員(12名)大仙市教育委員会教育指導課職員・大仙市役所総合防災課・西仙北支所・西仙北公民館職員(25名)、西仙北地域住民(113名)、大仙市中学生サミットメンバー・小学生・引率等(45名)警察署(2名)、大曲消防署・西仙北分署(4名)報道関係者(5名) 合計394名

5 訓練想定

8月29日(土)午前9時頃、西仙北大沢郷地域を震源とする直下型の強い地震が発生し、刈和野地区で震度6を観測した。西仙北地域の家屋世帯が全壊または半壊し、各避難所に市民が集まった。避難所に指定されている西仙北中学校にも避難者が集まり、避難所を開設することとなった。西仙北中学校ではその日、行事の関係で出校日となっており、活動中に地震が起こった。そのため、生徒たちの安全確保のために生徒は西仙北中学校にとどまるとともに、大仙市の要請により、避難所の開設・運営に協力する運びとなった。また、西部わくわくランチと連携・協力し、避難者に食事を提供することとした。

9・4(金) わたしの主張2015 県南地区予選大会 本校体育館で開催！！

9月4日(金) 13:30~16:00
には、本校体育館において、「わたしの主張2015(第37回少年の主張秋田県大会)県南地区予選大会」が開催されます。

少子高齢化、国際化、情報化の急速な進展等、わが国社会や国際的な環境が大きく変化する現代社会にあって、次代を担う子どもたちには、心身ともに健康で他者を思いやる心を持ち、社会的に自立していける健やかな成長が求められています。

そのためには、広い視野と柔軟な発想や創造性などとともに、物事を論理的に考える力や自分の主張を正しく理解してもらう力などを身に付けることが大切です。「わたしの主張2015 県南地区予選大会」は、これらの契機となることを願い、秋田県大会の予選を兼ねて実施するものです。

既に応募した県南の中学生の作品から第一次選考を経て、当日は10名の中学生が、主張を述べます。優秀賞受賞の皆さんは、県大会への出場者となります。

本校からも、3年 阿部真己君が「失敗は未来への大いなる糧」と題して主張する予定です。

どなたでもお聴きできますので、ぜひ、ご来校ください。



- 1 大会名 **わたしの主張2015
第37回少年の主張秋田県大会
県南地区予選大会**
- 2 開催日時 **平成27年9月4日(金)
13:30~16:00**
- 3 会場 **大仙市立西仙北中学校 体育館**
- 4 主催 (公社) 青少年育成秋田県民会議
青少年育成大仙市民会議
- 5 発表者
 - (1)「母から」
樋口優香 横手市立横手南中学校3年
 - (2)「世界と夢のつながり」
佐藤 舞 東成瀬村立東成瀬中学校3年
 - (3)「私たちとマナーの関わり」
高橋希音 横手市立横手北中学校1年
 - (4)「未来に向かって」
大石夏奈美 湯沢市立湯沢北中学校3年
 - (5)「この町で生きる」
佐々木春輝 横手市立平鹿中学校 3年
 - (6)「桜は故郷の誇り」
仲野谷美晴 仙北市立角館中学校 3年
 - (7)「失敗は未来への大いなる糧」
阿部真己 大仙市立西仙北中学校3年
 - (8)「伝える」
高橋千咲 湯沢市立皆瀬中学校 3年
 - (9)「盆踊りに恋して」
鈴木愛梨 羽後町立羽後中学校 3年
 - (10)「桜桃と平和」
佐々木有彩 湯沢市立湯沢南中学校3年

9/7(月)初めての「弁当の日」実施

9月7日(月)、食育の一環として、本校では初めての「弁当の日」を実施します。

生徒たちには、家庭科等で指導しておりますので、土日の買い出し等も含め、7日の朝の様子をご覧ください。

「弁当の日」は、8月1日に、中仙のドンパルで講演会があった竹下和男先生の提唱により始まった取り組みです。

2001年、竹下和男校長(当時)が、香川県の滝宮小学校5、6年生とともに始めました。子どもが自分でお弁当を作って学校に持ってくるという取り組みです。

何を作るかを決めることも、買い出しも、調理も、弁当箱に詰めるのも、片付けも、子どもがします。親も先生も、その出来具合を批評も評価もしないという約束です。

この取り組みを通じ、子どもたちは感謝の心を知り、自己肯定感が育まれています。失敗の中から多くを学び、生きる力を身に付けています。

大人たちは見守る大切さを知り、子どもの成長を通じて子育てが楽しいと思えるようになっていきます。家族団らんが増え、家庭に笑顔があふれるようになっていきます。そんな好循環が「弁当の日」を通じて全国に広がりはじめ、2015年4月現在、「弁当の日」実施校は全国で1700校を超えているそうです。(「弁当の日」HPより)



【秋田魁新報社記事より】

今号は、本校の今後の予定のお知らせです。